

Makuhari's Memory

アカデミーで得た「知識」「経験」「交友」

当初、私はこのアカデミーの研修で明確に学びたいことがありました。それは、非強制徴収公債権の滞納整理と財産調査についてです。今回、研修に参加を決めたのも講義の1つに、それがテーマとなっているものがあったからです。その時は、それを知ることができればいい、という思いが自分の中にありました。

そして、いざ研修が始まってみると、自分の職場のデスクでは知ることのできないこと、触れることのないものにたくさん触れることができました。講義は債権全般に関するもので、基礎的な知識から具体的な手法にまで切り込んでいたため、自分の業務に還元しやすい内容でした。また、交流会や討議では、他の自治体の職員の方と交流し、意見交換をする機会があったことで、他の自治体の現状や、債権回収の手法・実績等についても知ることができました。自分がこれから行おうとしていたことを既に何度も経験している人の話は聴き応えがありました。同じ立場でこれから行おうとしている人とは、気

持ちを共有できた、といったように、交流を通じて色々な観点から心強い繋がりを得られました。

また、当初副幹事を任せられ、最終日の発表ではプレゼンテーションをする係となるなど、普段あまり人前に出ない自分が前に出る役目を果たしたことも、普段はできないことをでき、前より積極的になることができたいい機会となりました。

アカデミーの皆様、同期の研修生の皆様、ありがとうございました。



丸山 悠登

埼玉県久喜市
上下水道部下水道業務課
〈受講研修科目〉
使用料等の滞納債権の回収強化
第30期1組（平成28年度）

アカデミー研修生の皆様、これからもよろしく!

私は市町村徴税事務（9日間コース）に参加しました。前回参加した先輩に資料を見せ付けられ、このような量、果たして消化しきれなのか、知らない人との長期合宿を乗り切れるのか、しかし、この合宿で得るものは大きいはず！という不安と期待の入り混じる中、当日を迎えました。

講義内容は幅広く取り揃えてあり、新たな知識を養うとともに、自身の処理内容についての修正点に気づきました。研修終了後、通常勤務にあたってすぐさま修正したところです。ロールプレイングでは研修生の日頃の納税折衝の様子について知りました。毅然とした態度や、生活保護の知識を活用、滞納者側も数々の兵達を相手にしてきたことが覗えるような演技でした。今後の折衝の参考にしたいです。課題演習では、みんなで1つの課題に対し、各市の実情を話し比較し、討議を重ねました。討議が終わった後はラウンジでくつろぎながら語り合い、親睦を深めます。

この研修を通してかけがえのない仲間に出会いました。自身の抱える案件に的確な指導をいただき、考えさせられ

ました。互いに抱えている案件に対して相談できる仲間を地域外に持てたことは1つの大きな成果です。仲間の姿を見ながら、水俣市の、自身の徴税について考えつつ、水俣市に貢献していきたいです。

最後に、貴重な知識をご教示いただいた講師陣、快適な生活を提供いただいた施設関係者の皆様、ともに学んだ研修生の皆様、本当にありがとうございました。

追記：集合写真を修了者等向けコミュニケーションサイトに投稿したよ！見てね！



平松 奈津美

熊本県水俣市
総務企画部税務課収納対策室
〈受講科目〉
市町村税徴収事務
第30期第1組（平成28年度）

Makuhari's Memory

充実した11日間

私は1年半家屋評価の経験があり、知識の修得・再確認をすることや各市と他の自治体との問題解決・評価方法の違いを知りたいと考え、研修に参加させていただきました。

アカデミーにいる間は、大きく分けて、講義・班別の演習・その他の時間がありましたが、そのうち、講義の時間は、標準的な内容から応用的な内容まで網羅しており、貴重な時間となりました。

また、班別に分かれて、同じ課題を討議する時間はとても有意義な時間でした。

討議をする上で、同じ課題であっても、解決する手段が自治体ごとに異なることがありました。当市のやり方しか知らない私にとって、新たな視点から考える契機となり、問題に直面するたびに研修に参加できて良かったです。

ここまでは、建前として、事務所の先輩方から伺っていた通り、楽しかったのは、ラウンジで他の自治体の職員の方々と談笑する時間でした。

更に、週末の自由時間には、地元ということもあり、ツアコンのような役割を担いながら、某テーマパークに行っ

たり、東京観光に出かけたりと、学生のようなノリで楽しんでおりました。

以上のように、アカデミーで過ごした時間は、公私ともに充実した11日間となりました。今後は、研修で得た知識や経験を活かし、築いた繋がりを大切にして過ごしていきたいと思います。

最後に、固定資産税（家屋）の課税に関する知識の修得と同種の職務に携わる全国の仲間に出会える機会を頂き、研修所の教授・職員の皆さま、ありがとうございました。



大江 直哉

千葉県千葉市
東部市税事務所資産税課家屋班
〈受講研修科目〉
固定資産税課税事務（家屋）
第30期第2組（平成28年度）

市町村アカデミーでつながる

あの夢のような研修だった5日間、このような素晴らしい機関誌に寄稿する機会を頂きましたので、思い出を綴ってみたいと思います。

私は、8月1日から5日までの「人事評価制度の運用」研修に参加させて頂きました。

研修生の皆さんは、北海道から沖縄までさまざまな地域、団体から参加されていました。それぞれの団体で運用上の問題や悩みを抱えており、毎晩のように活発な議論がなされていたように思います。班毎で行われた課題演習で、時には熱く議論し、時には熱く飲み語り合うことで課題解決に向けた活発な討議ができたことは、研修のひとつの財産として自身の今後につながりました。プライベートもアルコール代で3回ほど追加チャージしたような気がします。最終日に、班のメンバーと昼食を共にしながら再会を誓い、涙ながら硬い握手を交わしアカデミーを後にしました。海浜幕張駅までの道中、スマホを紛失するというアクシデントに遭い、アカデミー付近を走り回るも見つからず諦めかけていたとき、駅北口の交番からの連絡

で見つかり、電話もつながるという苦い経験も含め、いろいろなつながりを感じた最高の5日間となりました。制度担当者として研修で得た知識を活かし、課題等には実情をふまえながらCasualに対応していきたいと思います。

最後に、本研修を通してお世話になりましたアカデミー研修担当の和田さん、高砂さん、チームへそっぴーの皆さん、そして第30期第1組のすべての皆さんとのつながりに感謝します。研修生の皆さん、帰ってからが本番ですよ。



山野 俊一

鹿児島県曾於市
総務課秘書人事係
〈受講研修科目〉
人事評価制度の運用
第30期第1組